

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成29年03月17日

計画の名称	明石市公共下水道 ~ 「安全・安心のまちづくり」と「安定した機能の維持」~ (防災・安全)											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	明石市											
計画の目標	浸水対策及び地震対策を推進するとともに、老朽化施設への対応を図ることにより、「安全・安心のまちづくり」と「安定した機能の維持」を目指す。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	10,024	A	10,024	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	下水道による都市浸水対策達成率を48.7%(H27当初)から49.6%(H31末)に増加させることを目指し整備する。 下水道によって都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率(%) = 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha) (3,882.5ha)	48%	49%	50%
2	下水道管渠のうち、改築が必要な老朽管渠の改築達成率100%を目指し整備する。 下水道管渠のうち、事業期間内において改築すべき老朽管渠の改築達成率。 老朽管渠改築達成率(%) = 目標年次における改築済み老朽管渠の延長(km) / H27~31年度に改築すべき老朽管渠の延長(km) (1.2km)	0%	94%	100%
3	浄化センター及びポンプ場のうち、改築が必要な施設の改築達成率100%を目指し整備する。 浄化センター及びポンプ場のうち、事業期間内において改築すべき浄化センター及びポンプ場の改築達成率。 施設改築達成率(%) = 目標年次における改築済み施設数 / H27~31年度に改築すべき施設数 (10施設)	0%	10%	100%
4	公共下水道施設ストックマネジメント計画の策定率を0.0%(H27)から100.0%(H31)にする。 公共下水道施設ストックマネジメント計画の策定率 スtockマネジメント計画策定率(%) = スtockマネジメント計画策定済事業計画数 / 事業計画数 (1計画)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	明石市	直接	明石市	管渠(雨水)	新設	雨水整備事業	400~2800 L=3800m 雨水幹線及び面整備	明石市						2,631	-	
	A07-002	下水道	一般	明石市	直接	明石市	管渠(合流)	改築	老朽管渠改築事業	250~1200 L=1200m 老朽管渠の改築更新、長寿命化	明石市						92	策定済	
	A07-003	下水道	一般	明石市	直接	明石市	終末処理場	改築	朝霧浄化センター整備事業	水処理施設、汚泥処理施設等改築更新、長寿命化	明石市						212	策定済	
	A07-004	下水道	一般	明石市	直接	明石市	終末処理場	改築	船上浄化センター整備事業	水処理施設、汚泥処理施設等改築更新、長寿命化	明石市						1,380	策定済	
	A07-005	下水道	一般	明石市	直接	明石市	終末処理場	改築	大久保浄化センター整備事業	水処理施設、汚泥処理施設等改築更新、長寿命化	明石市						1,735	策定済	
	A07-006	下水道	一般	明石市	直接	明石市	終末処理場	改築	二見浄化センター整備事業	水処理施設、汚泥処理施設等改築更新、長寿命化	明石市						2,268	策定済	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	明石市	直接	明石市	ポンプ場	改築	朝霧ポンプ場整備事業	ポンプ場施設 改築更新、長寿命化	明石市						100		策定済
	A07-008	下水道	一般	明石市	直接	明石市	ポンプ場	改築	林ポンプ場整備事業	ポンプ場施設 改築更新、長寿命化	明石市						350		策定済
	A07-009	下水道	一般	明石市	直接	明石市	ポンプ場	改築	藤江ポンプ場整備事業	ポンプ場施設 改築更新、長寿命化	明石市						30		策定済
	A07-010	下水道	一般	明石市	直接	明石市	ポンプ場	改築	谷八木ポンプ場整備事業	ポンプ場施設 改築更新、長寿命化	明石市						90		策定済
	A07-011	下水道	一般	明石市	直接	明石市	ポンプ場	改築	江井島ポンプ場整備事業	ポンプ場施設 改築更新、長寿命化	明石市						4		策定済
	A07-012	下水道	一般	明石市	直接	明石市	ポンプ場	改築	西岡ポンプ場整備事業	ポンプ場施設 改築更新、長寿命化	明石市						338		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-013	下水道	一般	明石市	直接	明石市	管渠(汚水)	新設	ネットワーク化事業	1650~1800 L=2500m 汚水連絡管、ネットワークポンプ場整備	明石市						734		未策定	
	A07-014	下水道	一般	明石市	直接	明石市	-	改築	公共下水道施設(ストックマネジメント計画)	4処理区 計画策定、改築更新、長寿命化	明石市						60		未策定	
												小計						10,024		
												合計						10,024		

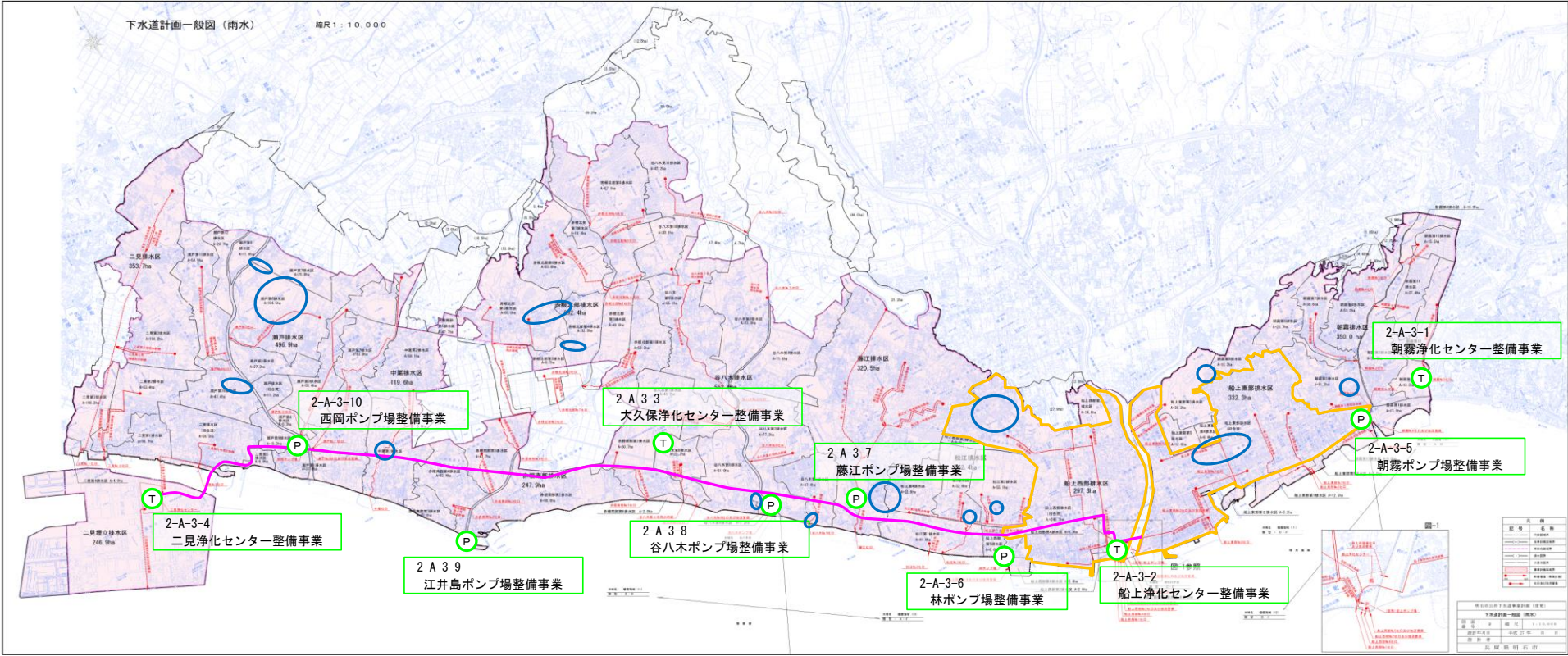
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	752	1,012	657	544	312
計画別流用増 減額 (b)	0	0	35	0	0
交付額 (c=a+b)	752	1,012	622	544	312
前年度からの繰越額 (d)	421	147	722	553	497
支払済額 (e)	1,026	437	792	600	600
翌年度繰越額 (f)	147	722	552	497	209
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	118	16
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	10.75	1.97
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				地元調整に時間を要したため。	

計画の名称	2 明石市公共下水道 ～「安全・安心のまちづくり」と「安定した機能の維持」～ (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	明石市

- (市内全域)
- 2-A-1 雨水整備事業
 - 2-A-2 老朽管渠改築事業
 - 2-A-4 ネットワーク化事業
 - 2-A-5 公共下水道施設(ストックマネジメント計画)
- (主要な整備区域のみ記載)



凡例	
-----	行政区境界
-----	下水道法による事業計画区域

事前評価チェックシート

計画の名称： 明石市公共下水道 ～「安全・安心のまちづくり」と「安定した機能の維持」～（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 下水道の諸計画（下水道中期ビジョン等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 関連する諸計画（神明地域総合治水推進計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の要望等の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民へ説明可能な内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施に向け地域も納得している。	○
III. 計画の実現可能性 計画について近隣住民等との間で合意可能である。	○